

## 社会人対象講座 キャリアアッププログラム

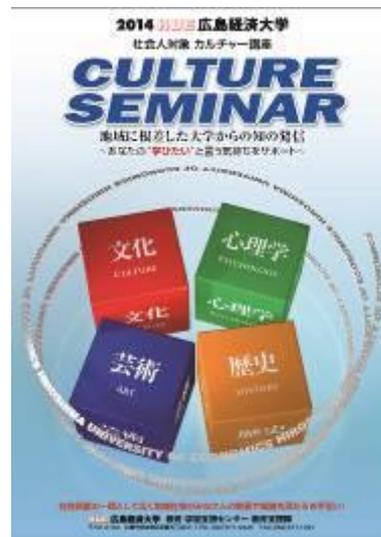
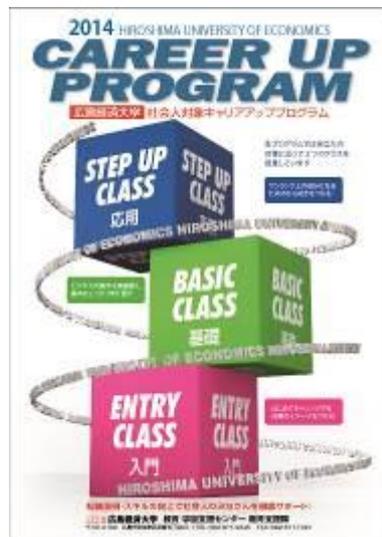
Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第125号(2014.10.02 発行)

このメルマガをどなたに転送いただいても構いません。なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

### 【お知らせ】

**3学期のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の受講生募集中!**



### 【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部  
経済学科 准教授 堀江 真由美
- ・2学期開講状況と受講生追加募集について
- ・3学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義のご紹介  
『映画と映画祭で学ぶプロジェクト・マネジメントの基礎』  
『マーケティング演習』
- ・3学期のキャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ
- ・公開講座『シティカレッジ』の募集のお知らせ
- ・経大見聞録
- ・ネパール騒動記 『ネパールからナマステ』 Packer Taka
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

### ■巻頭言

## 現実を見る

平成に入って四半世紀が過ぎ、そのせいか「昭和の〇〇」という言い回しが増えてきたように思う。昭和＝昔、レトロであったり、昭和＝懐かしさであったり、そこに込められた意味と受け止め方は、それぞれの世代によって様々である。平成が年数を増やすにつれ、平成で過ごした時間の方が長くなる人も徐々に増えていくので、この 25 年というのはちょうど世代間の違いが浮き彫りになる年数なのだろう。私も過去には、チャンネルもダイヤルも「回して」いたし、「国鉄」も「電電公社」も知ってはいるが、今では流石に使わなくなった。

大学ということで振り返ってみると、かつては黒板にチョークの板書という講義形式が普通であった。横浜国立大学で財務論(ファイナンス)を教わった青山護先生(1999 年に急逝された)は、当時片手にチョーク数本だけを持って講義に来られ、最適ポートフォリオやオプションの期待値と分散の計算式を延々と導出し図示する様は圧巻で、学生に厳しい質問を投げかけられることもあった。私もいつかあのような講義ができるようになりたいと憧れたものだ。その一方で、青山先生は、「出入り自由、飲食喫煙自由、〇〇持ち込み自由」(〇〇はご想像にお任せします!)を掲げられ、他の先生から“漫談”と称されるほどの語り口で、多くの学生が時には笑いを交えつつ、熱心にノートを取り真剣に聞き入っていた。

今はアクティブ・ラーニングの時代であり、理解度や満足度を高めるような標準化が進み、パワーポイント、グループワーク、ディスカッションを活用した授業形式へと移行しつつある。青山先生がされていたようなカリスマ講義も少しずつなくなっていくのかと、正直残念に思うが、それは結局「昭和の人気講義」だったということなのかも知れない。

青山先生は、ファイナンス、特に証券投資論が専門で、証券会社などの金融機関と共同で金融商品の開発にも携わり、あらゆる情報を瞬時に飲み込みながら刻々と変化する、証券市場のダイナミズムを研究対象とされていた。バーンスタイン著『証券投資の思想革命－ウォール街を変えたノーベル賞経済学者たち』(1993 年、東洋経済新報社)、『リスク: 神々への反逆』(1998 年、日本経済新聞社)の訳者としても知られ、『リスク』の訳者あとがきには、闘病生活の様子が垣間見える記述もある。大学院に進学していた私は、1998 年の夏休みが終わる頃にも母校を訪れ、その際、経営学部、経済学部でお世話になった先生方と一堂に会する機会に恵まれた。その場に、通院中の青山先生がひょっこり顔を出されて、私に繰り返しこう仰った。「堀江、現実を見なあかん。」これが先生から頂いた最後の言葉となった。

9 月の残暑が厳しく感じられるようになると、毎年この言葉を思い出す。私は現実を見ているだろうか。答えはいつも、およそ私なりに…とどうも歯切れが悪い。時代は巡り、現実も遷ろう。

### ■ 2 学期開講状況と受講生追加募集について

キャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の 2 学期の開講状況は下記の通りです。

とても残念ですが『歴史から読み解く日本の企業経営』、『国際金融の基礎』、『コーポレートファイナンスの基礎』、につきましては、最少開講人数に達しませんでしたので開講できませんでした。

この講座をお申込みいただきました方には、大変ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

さて、2 学期の講義は暦の関係上 10 月 6 日月曜日から始まり、少し間が開き 20 日月曜日から順次開講します。お申込みされた方は講義日をご確認ください。本学立町キャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

また、開講が決まっております下記の CP/CS 講座も引き続き受講生の募集をしますので、受講希望の方は下記 URL からお申込みください。

【CP お申込み URL】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html>

【CS お申込み URL】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html#entry>

CP/CS	講座名	開講	開講曜日	開講日時
-------	-----	----	------	------

CP	<a href="#">財務会計の基礎</a>	開講	月曜日	10/6,10/20,10/27, 11/10,11/17, 12/1
CP	<a href="#">ゲーム理論の基礎</a>	開講	火曜日	10/21,10/28, 11/4,11/11,11/12,11/25
CP	<a href="#">確率・統計入門</a>	開講	水曜日	10/22,10/29, 11/5,11/12,11/19,11/26
CP	<a href="#">マーケティングの基礎</a>	開講		
CP	<a href="#">Excelで学ぶデータマイニングの基礎</a>	開講	木曜日	10/23,10/30, 11/6,11/13,11/20,11/27
CP	<a href="#">実務に役立つ経理入門</a>	開講	金曜日	10/24,10/31, 11/7,11/14,11/21,11/28
CP	<a href="#">経営戦略論の基礎</a>	開講		
CS	<a href="#">乱世を生きた人々</a>	開講	水曜日	10/22,10/29, 11/5,11/12,11/19,11/26

### ■3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義のご紹介

早いもので、前回の CP 通信で 2 学期講座のご紹介と受講生の募集が終わったと一息入れていましたら、今回より 3 学期の講座のご紹介をしなければならない時期になりました。

今回は 3 学期の月曜日『映画と映画祭で学ぶプロジェクト・マネジメントの基礎』と『マーケティング演習』の授業計画(シラバス)をご紹介します。

お早目にお申込みいただけますと、開講が早く決まりますので、よろしくお願いいたします。

科目名	<b>映画と映画祭で学ぶプロジェクト・マネジメントの基礎</b> ベーシック(基礎)科目	
講義日	平成 27 年 1 月 19 日、26 日、2 月 2 日、9 日、16 日、23 日      毎週月曜日 計 6 回	
担当者	矢澤利弘 (経営学科 教授)	
副題	楽しみながらプロジェクト・マネジメントの基礎を学びたいあなたのために	
対象者	プロジェクトを任されている、あるいは任せられそうな方だけでなく、プロジェクト・マネジメント (PM)という言葉聞いたことがあっても、実際には何だかよく分からない、あるいは当面は自分の仕事に関係ないかもしれないが、なんだかおもしろそうだから話を聞いてみたい、といった方々の受講を歓迎します。	
到達目標	この講義の到達目標としては、1)PM の考え方の基本を知り、2)もし、仕事などで PM を手掛けなければならないときに、あたふたしないでプロジェクト・マネジャーとして活躍する自分をイメージすることができるようになることです。	
概要	今日、ソフトウェアの開発から大規模イベントまで、様々なものが PM のもとで作られています。本講座は、映画や映画祭を題材にして、PM を基礎から学ぶための講座です。映画製作や映画祭の運営方法を学ぶ講座ではありませんので、どの業界に所属されている方でも PM の考え方を基礎から学ぶことができるはずです。なお、本講座ではソフトウェア開発の PM は扱いません。	
授業内容	第 1 回 1/19	プロジェクトとプロジェクト・マネジメント
	第 2 回 1/26	映画と映画祭を事例としてプロジェクト・マネジャーと組織を考える
	第 3 回 2/2	映画と映画祭を事例としてプロジェクトの立ち上げと計画について考える
	第 4 回 2/9	映画と映画祭を事例としてプロジェクトの実行について考える
	第 5 回 2/16	映画と映画祭を事例としてプロジェクトのコントロールについて考える
	第 6 回 2/23	映画と映画祭を事例としてプロジェクトの終結について考える
授業の形式	座学	
授業の進め方	講義を中心に進めていきますが、受講生同士のペアワークによる演習などの時間も設けています。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	

受講者へのメッセージ	プロジェクト・マネジメントというと、大規模ソフトウェア開発向けのものだと考えがちですが、そんなことはありません。どんな分野でもプロジェクト・マネジメントの知識や経験は必要であり、マネジメントの巧拙が組織の士気にも影響を与えます。この講座では楽しく、わかりやすくをモットーに、映画と映画祭をケースにしたプロジェクト・マネジメントの考え方を扱います。映画館へ行くような感じでお気軽に受講してください。
講師紹介 (自己紹介)	矢澤利弘（経済学部 経営学科 教授）博士(学術)、公認会計士 1965年東京生まれ。早稲田大学商学部卒業、同大学院アジア太平洋研究科博士後期課程修了。日本経済新聞社を経て、監査法人伊東会計事務所(現・あらた監査法人)に所属し、会計監査およびコンサルティング業務に従事する。その後米国系通信社ブルームバーグ・ニュースにおいて経済記者として活躍。情報開示や映像ビジネスの諸問題等について企業にアドバイスを提供している。日本証券アナリスト協会検定会員。雑誌等に記事を寄稿するなど、映画批評家としても活動している。主な著作に「ダリオ・アルジェント 恐怖の幾何学」(ABC出版、2007年)、「相違点でみる 会計と税務 実務ポイント Q&A」(共著、清文社、2010年)、「起業家・ベンチャー企業支援の実務」(共著、ぎょうせい、2011年)、「グループ経営と会計・税務」(共著、清文社、2012年)、「会計実務に携わる人のための会社法と会社実務」(共著、税務経理協会、2013年)などがある。

科目名	マーケティング演習      ステップアップ(応用)科目	
講義日	平成27年1月19日、26日、2月2日、9日、16日、23日      毎週月曜日 計6回	
担当者	細井謙一	
副題	「もう少しましな企画は出せんのか?!」と言われたくないあなたのために	
対象者	マーケティングに関する企画立案をされるお立場の方。あるいはそれに興味のある方。	
到達目標	マーケティングの基本的な「考え方」を「体得」することを目標とします。	
概要	マーケティングの基本的な考え方を体得するという到達目標には、二つのポイントがあります。一つ目のポイントは、「考え方」という部分です。マーケティングについて考える上で、重要になる、考え方の枠組みやセオリーといったものです。またそれを生かすための、思考ツールがあります。素人と玄人の一つの違いは、こうしたセオリーやツールをきちんと理解しているかどうかです。二つ目は「体得」という部分です。いくら重要なセオリーやツールでも、知識として頭の中に入っているだけではあまり役に立ちません。グループワークを通じて、実際にそれを使ってみることで、実感を持って理解できるようにしたいと思います。最終的には、体得したセオリーやツールを活かして、マーケティングプランを立案してみたいと思います。	
授業内容	第1回 1/19	マーケティングの基本発想:4PとSTP
	第2回 1/26	STPをきちんと理解する:事例分析
	第3回 2/2	プランニングの基本発想とツールを学ぶ
	第4回 2/9	マーケティングプランを考える:Productを中心に
	第5回 2/16	マーケティングプランを鍛える:マーケティングミックス
	第6回 2/23	マーケティングプランをさらに鍛える:競合や時間経過に対応する
授業の形式	座学とディスカッション併用	
授業の進め方	グループワークやケース・スタディを中心に進めます。	
教材費などの追加負担	講義そのもので追加の負担は予定しておりません。講義後の「2時間目(任意参加)」を積極的に開催する予定ですので、そちらは各自ご負担願います(笑)	

受講者へのメッセージ	①グループワーク中心で進めますので、基本的な事項の解説にはあまり時間は割きません。それゆえに「ステップアップ科目」としてはいますが、極端に高度なことを行うというよりは、基礎的な内容をグループワークを通じて、しっかり体にしみこませるための講座です。②グループワークを中心に進めますので、「黙っているなら、出席した意味がない」という心構えで、ぜひ積極的に参加してください。とはいえ、しかめっ面して良いアイデアが出るものでもありませんので、明るく、楽しく、陽気に行きましょう。
講師紹介 (自己紹介)	細井謙一（経済学部 経営学科 教授、経営学科主任） 1968年新潟生まれ、明治大学商学部、神戸大学大学院経営学研究科単位取得満期退学。専門はマーケティング。文部科学省科学研究費、吉田秀雄記念事業財団等の助成による、営業活動、産業財マーケティング、企業間ネットワークなどに関する助成研究多数。主な著書に『営業の本質』（有斐閣）、『日本型マーケティング』（千倉書房）など。『1からのマーケティング』（碩学舎）など、教科書も多数執筆。株式会社アスカネット取締役（社外取締役）。

### ■3学期のキャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ

下記の表で講座名に Ctrl キーを押さえながらクリックすると授業計画(シラバス)がでてきます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計6回)
CP	<a href="#">映画と映画祭で学ぶ プロジェクト・マネジメントの基礎</a>	月曜日	1/19,1/26, 2/2,2/9,2/16,2/23
CP	<a href="#">マーケティング演習</a>		
CP	<a href="#">日常生活で役に立つ経済</a>	火曜日	1/20,1/27, 2/3,2/10,2/17,2/24
CP	<a href="#">中小企業経営論の基礎</a>		
CP	<a href="#">所得税法入門</a>	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4
CP	<a href="#">確率・統計の基礎</a>		
CP	<a href="#">財務分析の基礎</a>	木曜日	1/22,1/29, 2/5,2/12,2/19,2/26
CP	<a href="#">実戦ビジネス中国語会話</a>		
CP	<a href="#">イスラム経済とイスラム金融</a>	金曜日	1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20,2/27
CP	<a href="#">日本の財政破綻と金融政策</a>		
CS	<a href="#">コンピュータシミュレーションの世界</a>	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧ください、講義内容をご確認の上お申込みください。

### ■公開講座『シティカレッジ』の募集のお知らせ

今年度、本学が広く地域社会に提供している公開講座(シティカレッジ分とひろしまカレッジ分)は次のとおりです。

教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団と広島県内の各大学との共催によりシティカレッジ(公開講座)が実施され、本学の講座は、『地域が元気!』と題し、10月28日(火)から11月25日(火)まで5回にわたり開講されます。

5回連続聴講できる方はどなたでもお申込みいただけますので、下記の URL をご覧ください。

シティカレッジの詳細は [http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/city\\_college.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/city_college.html)

### ■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧くださいと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒースタイルにご覧いただけましたら幸いです。

【9/18】陸上競技部合宿所(仮称)の地鎮祭が行われました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008191.html>

【9/22】インドネシア国際貢献プロジェクトが現地での活動を終えて無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008197.html>

【9/22】カンボジア国際交流プロジェクトが現地での活動を終えて無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008202.html>

【9/23】カフェ運営プロジェクトが第2回「水遊びカフェ 2014」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008205.html>

【9/23】広島土砂災害による被災地域支援ボランティア活動へのご協力ありがとうございました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008200.html>

【9/24】大学院修士論文作成進捗状況報告会を開催

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008209.html>

【9/24】岡山県新見市で実施された環境保全型森林ボランティアにプロジェクトメンバー有志が参加しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008210.html>

【9/25】オープンキャンパスを実施しました

[http://www.hue.ac.jp/exam/open\\_campus/201409oc.html](http://www.hue.ac.jp/exam/open_campus/201409oc.html)

【9/26】平成26年度前期学位記授与式を挙

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008219.html>

## ■ネパール騒動記

### ネパールからナマステ

Written By Packer Taka

#### 第5話 カトマンズからポカラへ

カトマンズに滞在中は、毎日スワンヤブナート寺院へ登り日の出を見るつもりだったが、前々日からの体調不良で体力も気力もなく、寺院は苦勞して登るわりには、猿と犬の糞尿で衛生上悪いので止めた。面目ない話だが、方向音痴のワシが光り輝いている太陽の下で道に迷うのに、明け方前の暗闇では、道に迷う公算が確率統計的に高いということも大きな理由の一つだった。

今日は飛行機でポカラへ移動の日だ。身支度をしてゲストハウス(以下“GH”)のフロントで、1泊8ドル×3日=24ドルの精算をした。

ビスタさんがタクシーを呼んでくれており、それに乗るとGHの男も乗って来た。空港に用事があるのかと思っていると、彼は『またカトマンズへ戻って来たら、また俺達のGHに泊まってくれ』、と言う。ワシは安くしてくれれば泊まるが、先ほど払った金額では他を探すよ、と言ってやると、『幾らなら戻ってくるのか?』と聞くので、『そうじゃのお、3ドルだったらエエよ。』と言うと『5ドル』と言うので、『じゃ、間を取って3ドル(?)にしんさい。』と言う交渉が続き、結局3泊を12ドルで交渉成立したが、ポケットに11ドルしか入っておらず、11ドル渡し握手すると彼は車から降りて行った。

空港には以前、搭乗手続きをしてもらいチップを渡した男がいた。今回は要領が分かっていたので、自分で搭乗手続きをしてみると全く簡単だった。予約票を渡すと搭乗券をすぐにくれた。チップ男はわざと時間をかけ、手続きが難しいように思わせチップを高額にしたという事がこれで分かった。頭に来たので、そのチップ男のところへ行き、男の顔面を指さし『お前!ぼったくりか!』と日本語で怒鳴ってやったら、少々気まずそうな顔をしていた。

飛行機は定刻より30分くらい遅れて飛び立った。リュックサックは機内に預かってもらったのだが、ポカラに着き、荷物を受け取ろうとした時、預かり証を探しても無かったので、『預かり証が無いが、あれがワシのリュックじゃけえ』と言っても、係の人は『預かり証が無いと渡せない』と荷



物を渡してくれない。妙なところがキッチリとしている。国際空港では荷物を取り出口で預かり証を見せたことが無いのに、ここではうるさく言われる。記憶をたどってみるが渡された記憶がないのだが…もしかして搭乗手続きの時、搭乗券の裏に預かり証を貼り付けられているのかと思い、確認すると預かり証が付いていた。これで無事荷物を受け取ることができた。

飛行場を出ると、ゲストハウス(以下“GH”)から迎えのタクシーが来ていた。運転手は『Packer Taka』と書いた紙を掲げていたので、『ワシが Packer Taka じゃ!』と言うと言葉が分からないようで、こんなこともあろうかと、ワシもバックの中から『Grand Holiday Packer Taka』とプリントアウトした A4 の紙を用意していたので、彼に見せてやると『本当か? ホントウカ?』と二人は抱き合うように迎えのタクシーに乗った。GH に着き、ワシはタクシー料金も支払わずタクシーから降りロビーに入っていった。カウンターで宿泊手続きを済ませても、運転手はワシにタクシー代を貰おうとワシに付いて回った。タクシー代はツアー代金に含まれているものと思い込んでいるので無視していたのだ。しばらく無視続けると、運転手は言葉も通じず、仕方なさそうに帰って行った。

部屋に上がろうとすると GH のマネージャーのような男が、『ちょっと来てくれ』と中庭へ誘うので、ツアーの観光案内か? と思いながら今日は他にすることもないので彼に付き合うことにした。

色々ツアーを紹介してくれるが、ポカラでの自分自身の課題は、自分の足で周りの山に登り、ヒマラヤ山脈(マチャプチャレ等)を観ることと、パラグライダーに乗ることなので他に興味が無いと言ってやった。しかしマネージャーはトレッキングに絞り込んで攻めて(勧めて)くる。価格は 65 ドルでサランコットの山で朝日を観て Noudanda(ノーダラ)という街まで 3~4 時間トレッキングするそうだ。ワシは『40 ドルだったら行ってもいいよ。』と答える。『そんな安い価格は無い。60 ドルではどうか?』彼は聞く。ワシは『無理じゃ、ごめんね』と言ってリュックを担ごうとすると、『55 ドルでは?』と値が下がる。ワシは『40 ドルじゃないと行かないよ。』とそっけない返事。また彼が『55 ドル払わないと英語もできない案内人だ。』と言われ、『どうせ英語も分かんのに、何語で案内されても分かんわい。』と言いつつ。そうしたやり取りを何度かして、自分一人ではこんなトレッキング体験はできないと思い、『50 ドル出したるけえ、それで手を打ちんさいや。』まだ諦めきれないのか『50 ドルだと日本語はできないし、英語もできないから 55 ドル出してよ。』ワシ『日本語で案内してもらわんでもどうせ景色を観て歩くだけじゃろ、日本語も英語も関係ないわ。』と今度は本気で部屋に行こうとすると、彼は『50 ドルで OK...』と言ってワシの事を『あなた、友達』と日本語で言われ握手された。

朝飯も食っていないし、昼飯の時間だが食べる気がしない。部屋に荷物を置き、街をブラブラ歩いてみようと思えばポカラ湖のダムサイドまで歩いて行った。ここまで来たのだから、観光名所のバタレチャンゴ(流れのきつい滝のようなところ)、グブティッシュワール・マハーデブ洞窟(水の流れてできた洞窟)へ行ってみようと“地球の歩き方”(以下“本”)と言う本の地図を見ながら歩いていると目的地を通り過ぎていた。山道に『World Peace Pagoda』という看板が倒れており、それは日本の寺院で山頂から観るヒマラヤ山脈が綺麗だと本に書いてあったので登ってみることにした。

『World Peace Pagoda』の登山口まで来るのにもかなり蒸し暑く、脱水症状で体力を失い、ミネラルウォーターが底をついていた。途中の店で買おうと思いつきながら店を探すがタイミングが合わず買えなかった。セブンイレブン(? 写真右?)で買えばよかった…。

山道に湧水が出ているので顔を洗おうとすると、気温が暑いため湧水は暖かいというより、温泉のような湯が流れていた。

山に登るのも超ハードだった。雨季の蒸し暑さと日射、喉の渇き、体力の疲労低下…どこまで歩けば『World Peace Pagoda』に着くのか分からない不安との闘い。

GH のスタッフに聞いて出発すれば良かったのだが、本を片手に幾ら歩いても頂上が見えず、GH を出発して 3 時間かかり、やっとの思いで頂上まで着くと、遠く山の方角には分厚い雲がかかってヒマラヤの山々は見えず、ポカラの街を見下ろすだけだった…。

ひと休みして下山したが、また道に迷ってポカラ湖に向けて降りてしまった。すると、何と対岸まで行き来するボートが出ており、帰りは 1 時間もかからずに GH へ帰ること



ができた。

ワシ以外の他の観光客はこのボートの往復利用をして、いとも簡単に『World Peace Pagoda』へ往復していたのだ。やはり情報と言うものがどれほど重要か、という事を身体で教えられた。しかし蒸し暑く、歩き過ぎでヘトヘトになった。

唯一、嬉しかったことは、ポカラ湖のボートの船頭さんはワシが日本人と分かったのか、女子サッカーの“なでしこジャパン”が世界一になったことに対し、『日本はアジアの誇り』とワシを含め日本人をアジア諸国の仲間と扱ってくれ、アジア人の誇りと言ってくれたことが嬉しかった。

朝・昼飯を食べていなかったなので、晩飯には中華料理の店があったので行ってみた。マーボー豆腐に似たものと、モモというネパールの餃子とご飯、ビールを注文した。まだ下痢は治っていなかったので、GHに帰る途中にあった食料品店でビール2本買って内臓を消毒してみたが、2本では消毒しきれなかったようだ。明日はパタグライディングの予定だ。

This story is to be continued.

---

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構ですのご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。ご寄稿頂ける方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

---

■キャリアアップ・プログラムに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE 広島経済大学**  
**CAREER UP PROGRAM**

---